

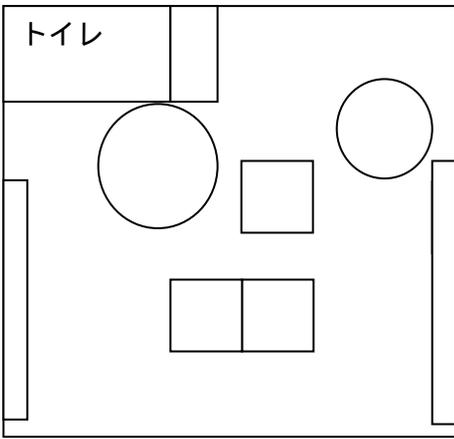
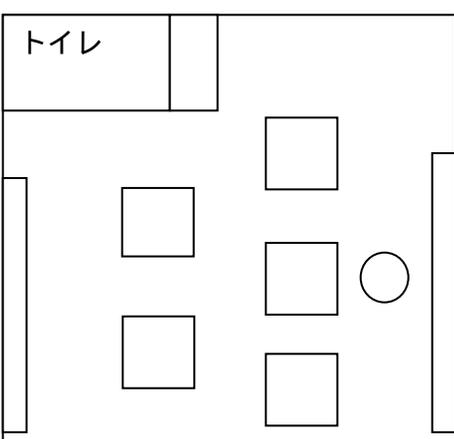
日 案 (晴天時)

会津若葉幼稚園
平成19年9月1日(土)

| 時刻 | 予想される活動 | 環境を構成する要点 | 保育者の援助 |
|-------|--|---|---|
| | もも組 5歳児 25名(男児11名 女児14名) | 担任 五十嵐 雅子 | ねらい 初秋の若葉の森の自然に触れ、変化に気付いたり、様々な発見を楽しんだりする。 炭の取り出しや探検を通して間伐の必要性を知り、自分たちが森を守るために出来ることを身近に感じる。 |
| 8:30 | 登園する ・挨拶を交わし、出発準備をする。 ・バスに乗車する。 | 《準備物》 ・名簿 ・拡声器 ・着替え ・救急用品 ・笛 ・ゴミ袋 | 夏休み明け初めての週末なので疲れていたり、公開保育ということで興奮することが予想される。落ち着いて過ごせるよう一人ひとりの様子に十分気を配る。排泄を済ませるよう声を掛け、服装や持ち物を確認し、気持ちを切り替える。 木炭庵広場に行ったことや幼稚園内での炭焼きを思い出したり、『 <u>若葉の森で遊ぶ会</u> 』での炭焼きの様子や今日の活動内容、 <u>目的を知らせ、意欲が持てるようにする。</u> 若葉の森の入り口から <u>草花や木々の様子、虫など前回の森との違いを感じたり、新たな発見を楽しめるよう保育者も子どもの目線に立ち探検する。</u> また、感じたことや気付きを他児へ知らせ、刺激になるようにする。 木が密集している様子に目を向け、 <u>間伐について身近なたとえで知らせ、必要性を感じるきっかけを持つ。</u> 『若葉の森で遊ぶ会』の炭焼きの様子を分かりやすく伝え、間伐した木が炭になることを知らせ、参加した幼児から感想を聞いたり、その時の様子を撮影した写真を見せて、炭の取り出しに興味や期待が持てるよう配慮する。 若葉の森で <u>間伐した木をなぜ炭にするのかも一度知らせ、取り出した炭と幼稚園で焼いた炭、木炭庵広場の炭を見比べたり、匂いをかいだり、音を出したりしながらじっくり触れ、違いや面白さを感じられるようにする。</u> それぞれの炭の違いや感想、気付いたことを伝え合う雰囲気を中心掛ける。 予め設置しておいた袋がけの葉の様子を見て、 <u>葉が息をしていること(生きていること)を再確認し、木も生きていることが子ども達の中で繋がりに、森を守る気持ちや大切に思う気持ちが芽生えるよう、子ども達の気持ちを受け止め、共感する。</u> にこにこ広場で休息を取り、水分を補給する。汗をかいていたら噴霧器で水をかけ、一人ひとりの健康状態に充分配慮する。 活動を振り返り、感じたことや気付き、驚いたことなど伝え合い、次回の活動への意欲となるようにし、降園する。 |
| 8:40 | 幼稚園出発 | ・噴霧器 ・デジカメ ・無線 ・洗面器 | |
| 9:00 | 新鶴体育館駐車場到着 | ・トランシーバー | |
| 9:30 | <u>若葉幼稚園の森に入る</u> ・ <u>葉の色はどう変わったか、木の芽は大きくなっているかなど、新たな発見や前回との違いを見つけながら探検する。</u> | ・逆性石鹼液 ・図鑑 ・虫眼鏡 ・双眼鏡 ・トイレトペーパー ・望遠鏡 ・ビニール袋 ・スコップ ・軍手 ・炭(幼稚園で作ったもの・木炭庵広場で作ったもの) | |
| | ・ <u>炭焼き窯から取り出した炭を見る。</u> | 《探検するコース》 <u>どんぐりのみち</u> ・森の様子をじっくり探る | |
| | ・ <u>感想や気付いたことを伝え合う。</u> | <u>炭焼き小屋</u> ・炭を取り出す ・感想、気付きを伝え合う | |
| | | <u>にこにこ広場</u> ・休息 | |
| 10:40 | 若葉幼稚園の森出発 | | |
| 10:50 | 新鶴体育館出発 | | |
| 11:10 | 会津若葉幼稚園到着 | | |
| 11:20 | 降園する | | |

日 案 (雨天時)

会 津 若 葉 幼 稚 園
平成19年9月1日(土)

| 時刻 | 予 想 さ れ る 活 動 | 環 境 を 構 成 す る 要 点 | 保 育 者 の 援 助 |
|-------|--|--|---|
| | <p>もも 組</p> <p>5 歳児 25名(男児11名 女児14名)</p> | <p>担 任</p> <p>五十嵐 雅子</p> | <p>ね ら い</p> <p>イメージを持って作品を作りあげる面白さや形になる喜びを感じる。 花炭の素材の特徴を知り、自分なりに工夫して扱う。</p> |
| 8:30 | <p>登園する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と挨拶を交わす ・持ち物の始末をする <p>好きな遊びをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み木(家・車作り) ・ブロック ・お絵描き ・作って遊ぶ(空き容器や折り紙、広告紙、紐などを使って) ・ごっこ遊び | <p>【保育室】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・換気やうがい、水分補給等を声掛けする。 ・遊びのスペースを確保し、状況に合わせて臨機応変に変えていく。 | <p>夏休み明け初めての週末なので疲れていたり、公開保育ということで興奮することが予想される。落ち着いて過ごせるよう一人ひとりの様子に十分気を配る。 各コーナーの遊びではスペースの使い方やルール、どうすれば安全か子ども達同士で話し合ったり、考えながら遊べるよう見守り安全面に十分配慮する。 遊びの中でのトラブルは自分達で解決しようとする姿を受け止め、必要に応じて自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに共感できるようにする。</p> |
| 9:30 | <p>片付け・手洗いうがいを</p> | | |
| 9:45 | <p>オブジェ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木や実、花炭など好きな素材を使って作る ・出来上がったものをお互いに見せ合う ・楽しかったところ、苦労したところ、気付いたことなど伝え合う、 | <p>【製作】</p>  <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花炭 ・幼稚園の森で拾った木や木の実等 ・ポンド ・爪楊枝 ・麻紐 ・台紙(ダンボール) | <p>一人ひとりがイメージを持って製作に取り組めるよう素材をじっくり見たり触れたりする時間を設ける。 実際に触れることで素材の面白さを感じたり、工夫して製作に取り組めるようにし、花炭の特徴(性質・匂いなど)を捉える機会を持つ。 工夫しているところや面白い発想など具体的に褒めることで自信を持ったり、全体に伝えることで、友達の姿を受け入れ、良い刺激になるような接し方(伝え方)を心掛ける。 出来上がったら友達と見せ合い、感じたことを伝えることで、互いに満足感・達成感を得、自信に繋がれるようにする。</p> |
| 10:50 | <p>片付け</p> | | |
| 11:00 | <p>降園準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞く 『エルマーの冒険』 ・今日の活動を振り返る | | |
| 11:20 | <p>降園する</p> | | <p>今日の活動で感じたことを受け止め、花炭を使った活動へ意欲を持ち、園遊会の年長クラスのお店の品物作りのアイデアや繋がりが持てるよう話し合う。</p> <p>活動を振り返り、落ち着いた気持ちで次週の活動を楽しみに出来るようにする。</p> |